

福祉おもいやり



「うわ～、ドキドキするよ～」

社会福祉協議会では村内の小中高等学校を「福祉協力校」に指定して、児童生徒の社会福祉に対する意識啓発を図っています。7月7日に姥屋敷小中学校で行なわれたキャップハンディ体験（障害疑似体験）では、15名の生徒がアイマスクと白杖を使って視覚障害者の大変さを体験しました。

目隠しをすると、普段歩きなれた廊下も怖くて歩けません。こうした体験が、子どもたちの障害に対する理解を深め、「自分にできること」を考える機会になります。

第 132 号

平成21年9月15日発行

発行／社会福祉法人滝沢村社会福祉協議会

〒020-0172岩手県岩手郡滝沢村鶯飼字中鶯飼47番地1

TEL 019-684-1110・FAX 019-684-1121

Eメール takizawashakyo@m2.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.k3.dion.ne.jp/~takisha/>

主な内容

- 赤い羽根共同募金運動…………… ②③
- お知らせ…………… ④⑤
- 福祉基金・川柳・親子でスマイル …… ⑥

この広報紙は、共同募金配分金の一部を充てて発行しています。

「地域の福祉、みんなで参加」



赤い羽根共同募金運動

《運動期間 10月1日から12月31日まで》

～皆様のあたたかいご協力を宜しくお願いいたします～



▲昨年度の赤い羽根共同募金街頭募金活動

十月一日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。この運動で寄せられる募金は、私たちの地域で行う「福祉のまちづくり」の貴重な財源として活用されます。今年度も、皆様のあたたかいご理解・ご協力を賜りますよう、宜しく願っています。

共同募金は計画に基づいて 行う「計画募金」です

共同募金は、事前に地域の福祉施設や社会福祉団体、ボランティア団体等から活動のための資金ニーズを取り纏め、使い途の計画を立ててから行う計画募金です。

岩手県共同募金会が地域の様々な福祉団体から申請を受け付け、その内容について必要性・緊急性等を考慮した上、寄附者の皆様に納得いただける配分計画を策定し目標額が設定されます。

このようにして設定された目標額を達成するため、各市町村に「全県目標額」が割当てられます。この「全県目標額」は、各市町村の世帯数・個人県民税などを勘案し算定され、割当てられます。

さらに「地域目標額」は、来年度に滝沢村社会福祉協議会が実施する予定の地域福祉

事業（3ページ参照）の財源として必要な額です。これらを合算した額が今年度の滝沢村全体の目標額になります。

目標額の達成のため ご協力をお願いします

この目標額を達成するため企業・学校へのご依頼の他、街頭募金等によりご協力を呼びかけております。

その内、各世帯の皆様には500円を目安としてご協力をお願いしております。（この額は、あくまでも目安額であり、決して強制するものではありません。）

今年度も皆様のご理解と温かいご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

今年度の滝沢村の募金目標額
7,400,000円

《内訳》

全県目標額 5,462,000円

（岩手県全体の中での滝沢村の目標額）

地域目標額 1,938,000円

（滝沢村独自の福祉活動を推進するための目標額）

今年度、皆様にご協力をお願いする募金の中から滝沢村社会福祉協議会が配分を受け、次の福祉活動を実施する計画です。

募金の使いみち（※募金実績額により事業が変更されることがあります。）

《高齢者・障害者福祉のために》

- 訪問ふくし理容サービス事業の実施
- ふれあい送迎サービス事業の実施

《児童福祉のために》

- 福祉協力校の指定による福祉教育推進
- 福祉作文コンクールの実施

《福祉のまちづくりのために》

- 福祉ボランティアまつりの開催
- 滝沢村社会福祉大会の開催
- 地域福祉ゆいづくり事業の実施
- 地域福祉活動助成事業の実施



▲「福祉作文コンクール」。児童生徒の社会福祉への理解と関心を高め、地域福祉活動に参加する意識を啓発・育成することを目的に実施しております。



▲「福祉ボランティアまつり」。ボランティア自身でまつりを運営し、地域での福祉活動に対する理解を深める機会として実施しております。

皆様の善意が活かされています

平成20年度募金から滝沢村への配分（平成21年度事業費）

20年度の赤い羽根共同募金運動は、滝沢村では7,212,309円、岩手県全体では232,904,679円もの募金が寄せられました。その中から平成21年度、滝沢村社会福祉協議会、及び滝沢村内のボランティア団体に対して配分金が交付されました。

- 滝沢村社会福祉協議会事業費として → 4,110,393円

- 岩手県共同募金会「福祉のまちづくり支援事業」として

《鵜飼温泉自治会・温泉ゆいの会》

→ 230,000円

温泉ゆいの会用機器（テーブル、イス）整備事業

《元村中央自治会》

→ 210,000円

高齢者・弱者救済等のための除雪機整備事業

《鵜飼南自治会》

→ 44,000円

健康管理機器整備事業



▲赤い羽根共同募金運動の配分金を充当して、足腰の弱い会員の利便性を高めるため、テーブル、パイプ椅子等を整備した「温泉ゆいの会」様。

滝沢村社会福祉協議会

住所 滝沢村鵜飼字中鵜飼 47-1
滝沢村老人福祉センター内
TEL 684-1110 FAX 684-1121
Eメール: takizawashakyo@m2.dion.ne.jp

お知らせ・ご案内 Information

村民の皆様を対象とした各種相談所を開設しています。
ひとりで悩みを抱え込まず、お気軽にご利用下さい。電話での相談も可能です。

- 暮らしの相談（暮らしの相談員） 10時～12時
- 法律相談（弁護士） 10時～15時【要予約】
- 人権相談（人権擁護委員） 10時～12時
- 相続登記相談（司法書士） 10時～15時【要予約】
- 子育て・健康相談（保健師） 10時～12時
- 知的障害相談（知的障害者相談員） 10時～12時

開催日時	内容	会場	予約締切日
10/ 6(火)	相続登記相談	スマイルすまいる	10/ 2(金)
10/13(火)	暮らしの相談	老人福祉センター	予約不要
10/14(水)	人権相談	老人福祉センター	予約不要
10/17(土)	休日相談	老人福祉センター	予約不要
10/17(土)	子育て・健康相談	スマイルすまいる	予約不要
10/20(火)	法律相談	スマイルすまいる	10/16(金)
10/24(土)	知的障害相談	スマイルすまいる	予約不要

開催日時	内容	会場	予約締切日
10/27(火)	暮らしの相談	老人福祉センター	予約不要
11/10(火)	暮らしの相談	老人福祉センター	予約不要
11/11(水)	人権相談	老人福祉センター	予約不要
11/17(火)	法律相談	スマイルすまいる	11/13(金)
11/21(土)	子育て・健康相談	スマイルすまいる	予約不要
11/24(火)	暮らしの相談	老人福祉センター	予約不要
12/ 1(火)	相続登記相談	スマイルすまいる	11/27(金)

生活の様々な場面で「安心」をお届けします！

ご存知ですか？ 日常生活自立支援事業

毎日の暮らしの中には色々な不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。日常生活自立支援事業は、ご自分で金銭や大切な書類などを管理することに不安のある、認知症高齢者や知的障害・精神障害のある方が安心して暮らすことのできるよう、社会福祉協議会の生活支援員が定期的に訪問し、お手伝いをする制度です。

こんなことでお困りではありませんか？

- ◎ 福祉サービスを利用したいけど手続きの仕方がわからない。
- ◎ 通帳や印鑑など、どこに置いたか思い出せない。
- ◎ 税金や保険料、公共料金の支払いを忘れてしまう。

社会福祉協議会がお手伝いします！

- ◎ 福祉サービスを利用したいときの契約手続きのお手伝いをします。
- ◎ 通帳や印鑑、大切な書類をお預かりします。
- ◎ 日常的な金銭管理のお手伝いをします。

■ どんな人が利用できますか？

認知症高齢者や知的障害・精神障害のある方など、判断能力が十分ではない方が利用できます。

■ 利用の手続きの方法は？

社会福祉協議会（☎684-1110）へご相談下さい。この事業の専門員（専門知識をもった担当者）が訪問してお話を伺います。お困りのことを一緒に考えて「支援計画」を作ります。支援計画に沿って生活支援員（実際の支援を行なう人）がお手伝いをします。

■ 費用はどのくらいかかりますか？

契約を結んだ「支援計画」によりサービスを受けたときは、1時間あたり1,300円の利用料がかかります。（生活保護世帯は無料です。）

シリーズ

「近所福祉「ココ」にあり！」

滝沢村社会福祉協議会では、高齢者の孤独死の防止や災害時の非難支援等、安心して暮らせる地域づくりを目的として、地域内の助け合い・支え合い活動を支援する「地域福祉ゆいづくり事業」を平成13年度より実施しています。8月28日に開催した「お互いさまのまちづくり 地域の高める情報交換会」の中で報告された、ゆいづくり事業実践地区（6地区）の活動の中からいくつか紹介します。

地域の中は

みんなで見守り

ひとり暮らし高齢者宅を定期的に訪問する活動に取り組んでいる地域では、今年の初め、訪問した際に玄関に鍵が掛けられていましたが中の様子が気になって親族に連絡したところ、既に亡くなった状態で発見されたということがありました。

検視の結果、訪問の2日前に心筋梗塞で亡くなっていたことが判明しました。亡くなられた方は日頃から元気で近所とも交流があったため、皆驚いたとのことでした。

これをきっかけにこの地域内では高齢者の見守りに対す

る意識が高まり、道端で顔を合わせる「〇〇さん、元気だったよ。」など話題になり、皆が気になる人の見守りをするようになったそうです。

あいさつから広がる

支え合いの輪

またある地域では、ゆいづくり活動リーダーが民生委員と共に、気になる人のお宅を安否確認のために訪問する活動を続けてきたところ、それをきっかけに、最近では近所で会った時も気軽にあいさつを交わすようになり、最近の様子などを話してくれるようになったという報告がありました。他にも、冬場に中学生と一

緒にひとり暮らし高齢者宅の雪かき活動を行った地域では、活動後、参加者同士大人も中学生も気軽にあいさつを交わすようになり、また、中学生が参加することで大人も「自分たちが子ども達の模範になって助け合いを拡げているよ。」と意識が変わっているようだとの報告がありました。

今回の情報交換会には、村内の自治会関係者多数の参加があり、地域住民が主体となった助け合い・支え合い活動への関心の高さが感じられました。

参加者からは、「地域内の要援護者が把握できないので自治会活動が難しい。」という意見もありましたが、「地域の中の情報を皆で集め少しずつ確認していくしかない。時間はかかるが地域の助け合いは行政に頼るものではなく自分たちで何とか頑張るしかない。」という発言がありました。

『地域の力』を頼もしく感じた情報交換会でした。

老いも、若きも、車いすも、みんなで登った鞍掛山！ 10回目を迎えたハートフルピクニック

7月11日（土）、交流登山「ハートフルピクニック～みんなで登ろう鞍掛山に」を開催しました。

登山をとおして障害をお持ちの方とボランティアとの交流を図り、助け合いの輪が地域で広がっていくことを願い開催してきたこの事業は、多くの皆様の支えにより今年10回目を迎えることができました。

当日は、138名の参加者を歓迎するかのように素晴らしい青空に包まれ、鞍掛山の豊かな自然を満喫しました。全員が登頂を果たし、山頂からの素晴らしい眺めを楽しみながらお互いに交流を深めました。

この10年間で、障害をお持ちの方とボランティアの参加者数は延べ1,300名以上になりました。



▶陸上自衛隊曹友会、岩手看護短期大学の皆様を始め、多くの団体にもご協力いただきました。
◀無事に登頂を果たしたことを祝い、参加者全員で万歳！



ひとり暮らし高齢者“さわやか友の会” 「紅葉のつどい」参加者募集!

ひとり暮らし高齢者“さわやか友の会”で「紅葉のつどい」を開催いたします。一緒に紅葉を見ながら、楽しい時間を過ごしましょう!

- 期 日：10月26日(月)
- 場 所：鶯宿温泉 寿広園
- 参加対象：おおむね65歳以上のひとり暮らしの方、日中ひとりになる方
- 参加費：3,500円
- 集 合：滝沢村老人福祉センター前
※10時集合とし、バスで会場まで移動します。
- 申込み：10月16日(金)までに世話人、又は社会福祉協議会へ電話でお申込み下さい。

《世話人》古舘 郁子 元村 688-1537
浅利 修巳 元村 688-6451
平野 泰子 鵜飼 687-2879
滝沢村社会福祉協議会 684-1110

ご寄附ありがとうございました

平成二十一年六月二十六日から平成二十一年八月三十一日まで、次の方々からご寄附いただきました。

《福祉基金》

工藤誠吉 様

(一) 田玉募金

一、五四八円

和泉幸雄 様

(ボラン) ティア活動
実費弁償費)

一、〇〇〇円

匿名(一件)

五〇〇円

《車いす寄贈》

富士ゼロックス岩手株 様

車いす一台

福 祉 柳

課題 「涙」

引田 千柳 選

真実を

明かす涙に 励まされ

山瀬 鐘孝(菓子)

母に似て

涙のみこむ 悪いくせ

泉川 瀧子(川前)

球児らと

共に涙す テレビ席

岩田 弘(元村)

孫に子が

うれし涙が 止まらない

鈴木 愛子(川前)

八・二五

涙なしでは 語れない

高橋 八重子(元村)

次回課題 「雑 詠」

応募先 〒〇二〇〇一七二

滝沢村鵜飼字中鵜飼四七一

滝沢村社会福祉協議会

「福祉柳」係りまで

締め切り 十月十五日

投句数 ひとり三句まで

(掲載は五句となります)

※作品によっては添削する場合があります。

あとがき

5ページに掲載した情報交換会。参加者から「支援を必要としている方との信頼関係は、何度も顔を合わせ、お互いをよく知ることではか築けない。一朝一夕にはいかない。」とのお話がありました。心が通いあい支えあう地域は簡単にできあがるものではないかもしれません。地域のみんが少しずつ協力し合うことで、少しずつ進んでいきます。地域の福祉は住民が主役。社会福祉協議会は、地域の「福祉力」を高めるため皆さんと共に進んでいきます。



《元村》

花音ちゃん(2歳7ヶ月)が得意なことは? A 音楽に合わせて歌ったり踊ったりするところが大好きです。

どんな大人になって欲しいですか? A 周りの人々を大切にすることができる人になってほしいです。

子育ての楽しいところはどこですか? A 日々の成長を感じることが嬉しいです。

子育てで心がけていることは何ですか? A ゆったりとした気持ちで、何でも楽しく。

ご意見・ご要望等お願いします A 「すまいる・スマイル」も親子サロン「チャチャチャ」も、スタッフやサポーターの方々がやさしく迎えてくれる、とても居心地のいいところです。